

令和5年12月期 随時モニタリング実施結果について

日 時 令和5年12月20日（水）13時30分～14時30分

会 場 加茂野保育園 職員室

出席者 美濃加茂市・株式会社セリオ

内 容（○：市 ●：指定管理者）

・令和5年12月期の報告

【1. 令和5年12月期の報告】

●園長及び本部及び統括エリア長の面談実施について

<園長より>

- ・人事評価職員面談の実施。
- ・次年度意向調査など聞き取りを行う。

<本部より>

- ・11/27・28 全職員面談を実施
- ・面談後、園長にフィードバックを行い、現在の課題の共有を行い改善を図る

(課題)

- ・職員同士（特に学年）の情報交換と共有がまだ不足している

(改善)

共有の場を設ける為に学年会議（学年担任、主任、本部参加）、リーダー会議の実施。

取りまとめた内容を職員会議にて共有し、全体への周知を図る。

また、細かく会議を実施することで組織の明確化と主任と副主任の役割の確立を行う。

来月からは情報共有と関係性を深める為にパート保育士同士のミーティングも実施していく。

<統括エリア長より>

- ・12/7、12/15 園長と面談実施

(内容)

- ・前回相談事項の業務精査や残業業務など事前報告を職員が行うようになり改善に繋がった

- ・今後の研修の動きなど話し合い

- ・保護者へ“見える化”をし取り組みを周知していく

例えばブログ(美濃加茂市はブログ利用が現在不可の為)に代わるコドモンを活用した保育活動の配信

→早速のお店やさんごっこの取り組みを本日コドモンにて配信

- ・日々の保育活動をドキュメンテーション形式で掲示

●園長及び副園長による保育室の見回り強化について
(改善状況)

未満児と年少の見回りを重点的に行う。

見回りを強化することによって自然な雰囲気の中で見回りができるようになった。
配慮を必要としている子への対応や担任への助言やサポートなどに徹している。

(今後の動き)

12 月中に 3 名の保育士が退職しクラスから抜け、職員の入替わりがある為、今後も見回りを行い、クラス運営の安定を図る。

●児童の様子について

- ・特に大きな事故や案件なし（その都度、共有済み）
- ・インフルエンザ罹患者増えている（市に報告済）

→現在（R5. 12. 20 時点）罹患者 26 名。保健所へも適宜報告済

●園運営の透明性確保について

- ・保護者の方との関係性の構築の為、コドモンの使用方法のルールを明確化する。
- ・早番から遅番の担当職員が連絡事項を共有し、認識した上で正確に保護者にお伝えができるようにクラスノートと申し送りノートを作成し、活用する。
- ・保育書類確認ルートの再確認を行った。報告・連絡・相談ができてきている。
- ・職員間の情報共有の方法の見直し（昼礼記録、クラスノート、申し送りノートを活用）

●職員採用について

<入社>

2024/4/1 パート保育士 1 名採用

<採用面接・園見学>

- ・用務員 1 名（不採用）・パート保育士 1 名 面接予定
- ・ボランティア学生 1 名（関有知高校）

●社内研修の実施について

<嘔吐処理研修(継続案件)>

- ・実技研修 →別途資料添付

→12 月熱性けいれん研修受講中・1 月 AED 研修予定

実施内容はコドモンを活用して保護者へ取り組み配信予定

<おもちゃライブラリー>

- ・床で遊ぶこともいいが、子どもはおもちゃを確保することに必死になって遊べなくなる。机上で活動にすることで自分の空間が確保され遊びに集中することができる
- ・物(おもちゃ)があふれるがいいことなのかと疑問もあるが、遊びを選択できることは必要だと思うので、おもちゃの精査をしていきたい
- ・こどもたちも一緒に楽しい時間を過ごし職員が何よりも楽しんで研修を受講できたのでよかった
- ・子どもたちが指先を使うあそびのおもちゃも多くありよかった

<セリオ全園長研修(12/7~8: 2日間) 場所: 大阪>

(研修目的)

- ・子どもにとって「心地よい」「心良い」を育むことを念頭に置き、「一人ひとりにていねいな保育」の認識を高める
- ・職員全員がいきいきと前向きに取り組める環境をつくる
- ・園の新たな価値を生み出すことを軸とし、改善行動を進める実践力を身につける

(研修を受けて)

- ・同じ目標をもってチームで取り組むことの大切さを再確認する
- ・リーダーが明確な目標を示し、メンバーが役割を認識して自ら動く行動力を持ち、成果をあげることができる環境を作ることの大切さを学んだ。

※保育園の事業計画を見直し職員と共に“どんな園にしたい”か出し合い、次年度に向け園目標や園方針を策定に取り組むことを計画している

<全園長懇親会実施>

- ・園情報共有
- ・親交を深める

●その他

- ・お散歩マップ作成中

→現在子どもの家に丸シールを貼り、地域に興味関心をもてるようなお散歩マップへと作成中

○こども未来課より

- ・申し送りノートの活用など実践されており、共有が改善されたこと非常によかったと思う。
- ・前回課題とされていた保育士同士のスムーズなコミュニケーションはその後どうなったか

→(園長より)園長と主任で声掛けを役割分担をしていきたい

- ・一年を振り返り事業計画を余裕を持って取り組むことはいいことなのでおすすめです。それぞれ経験してきていることが違うので、次年度に向けどんな園にしたいか皆さんの意見をまとめていってほしい。
- ・チームの大切さ、役割分担は園にとって大切なこと

○こども未来課から

- ・第三者評価受審について

→今年度は準備期間が少ないことも含め来年度よりすすめる。今年度は、美濃加茂市が行う利用者満足度調査を実施する。美濃加茂市が準備しすすめる。

○こども未来課保育士から

園訪問を終えて

気になる子へのかかわり方について

- ・未満児の靴下を脱いで投げる姿などを見て「いつもこんなことするんですね」だけで終わるのではなく、こういう姿があることに対して探ってあげてほしい。
- ・未満児の一斉保育について気になる。給食の時など一斉食事ではなく、時間差をつけて子どもに応じてゆったりとかかわれる時間をつくるなど連携が必要と感じる
- ・気持ちの切り替えが難しい子どもについてあげかかわり方を探り、落ち着けるよう取り組む。

- ・次回訪問 令和6年1月19日(金)

- ・次回随時モニタリング 令和6年1月24日(水) 13時30分から